付表　史跡上野国分寺跡遺構一覧表

凡　例

1　記号・番号

遺構は次の分類記号によって区分し、種類ごとに一連番号を付した。

ＳＡ：柱穴列など　ＳＢ：基壇建物・掘立柱建物　ＳＤ：溝・濠

ＳＥ：井戸　ＳＦ：築垣・塀　ＳＪ：竪穴式住居

ＳＫ：土壙　ＳＴ：墓壙　ＳＸ：性格不明

2　調査次

Ｔはトレンチ調査（1～15)、次は調査次（16～35）を示す。

3　位　置

調査基点（第IX座標Ｘ＝43,750.0、Ｙ＝－72,500.0）からの距離を示す。

Ｓ：南　Ｎ：北　Ｅ：東　Ｗ：西　数字はm

4　形状・規模

検出された状態での法量などを示す。

5　検出状況

他の遺構との重複状況などを示す。

6　時　期

遺構の時代を示す。時期が細分できるものについては世紀で示す。

7　その他

(1)　各欄の記入がない個所は不明であることを示す。

(2)　調査時につけた記号・番号が、後の検討によって遺構の区分が変ったもの、遺構でないと認定されたものは欠番とした。

記号・番号	調査次	位置	形状・規模	検出状況	時期
ＳＡ					
01	12Ｔ	N58～61・E16～40	柱穴7、柱間240～300cm。E－0°－S。	ほぼ同位置で造り直されている。	平安・前～中期
02	22次	S40～43・E28～37	柱穴3、柱間330～450cm。E－13°－N。	ＳＤ10の南岸に並行する。	中世
03	27次	S64～73・W42～44	柱穴5、柱間240cmと270cm。N－1°45′－W。	ＳＢ12の東側に並行、目隠塀とみられる。	奈良(創建期)
ＳＢ					
01	25次	N15～30・E11～43	金堂跡。7×4間の基壇建物。N－4°－E。	基壇と礎石8個が残る。	奈良～平安
02	23次	S87～92・E59～61	基壇建物跡。680×560cm。	瓦積み基壇状。建物規模は不明。	平安
03	19次	S4～24・W26～51	塔跡一辺36尺、基壇一辺64尺。	基壇と礎石15個が残る。	奈良～平安
04	5Ｔ	N17・E132付近	東大門	礎石1個が残る。	奈良～平安
05	(欠番)		(ＳＪ06壁立ち上がりの誤認)		
06	12Ｔ	N61～80・E23～33	講堂跡。梁間4間、桁行は不明。	礎石掘形の一部が残る。	奈良～平安
07	5Ｔ	N25～33・E125～130	3×2間の掘立柱建物跡。	ＳＪ05カマドに切られている。	奈良
08	18次	N1～10・W4～10	3×2間の掘立柱建物跡。	柱穴掘形は円形。	平安
09	17次	S16～44・W6～11	2×9間（以上）の掘立柱建物跡。	部分的に床束柱が認められる。	平安
10	23次	S93～103・E26～32	南大門跡。2×3(以上)間。N－0°－E。	基壇東半部と東側柱の礎石が残る。改修の可能性あり。	奈良～平安
11	24次	S51～56・W70～75	2×2間の掘立柱建物跡。E－9°45′－N。		奈良(創建期)
12	27次	S63～75・W47～58	2×4間で南北に廂をもつ掘立柱建物跡。N－1°45′－W。		奈良(創建期)
13	29次	S26～31・E18～25	1×2間の掘立柱建物跡。E－3°－S。	攪乱が著しい。	奈良～平安
14	31次	S114～119・W45～53	2×4間の掘立柱建物。E－1°30′－S。		平安
ＳＤ					
01	16・31次他	S100～104・E132～W70	南辺築垣外側の溝。西半部で広くなる。	空堀。	奈良～平安
02	10Ｔ・28次他	N62～S130・E5～25	階段状に掘られた溝。	寺域中央部を南北に貫流する。	中世
03	5Ｔ・13Ｔ	N21～24・E101.5～102.5 N60～63・E104～106.5	上部幅310cm・底部幅100cm・深さ100cmのＵ型の南北溝。N－0°30′－E。	さらに南北にのびる。	中世
04	15Ｔ	S8～20・E95～104	上部幅200cm・底部幅30cmのＶ型溝。N－40′－W。	南北に続く。	奈良～平安
05	5Ｔ	N16～21・E122～122.5	浅い南北溝。	ＳＪ06を切る。	平安～中世
06	5Ｔ	N24～25.5・E124～125	浅い南北溝。	ＳＪ05を切る。ＳＤ05の北延長部とみられる。	平安～中世
07	12Ｔ	N59～64・E16～25	上部幅85cm・底部幅30cm・深さ30cm。	ＳＥ01から南へ流れ出る。	中世
08	(欠番)				
09	20次	N89～94・W0～15	上部幅100～200cm・底部幅50～120cm。浅い皿状。	「く」型に曲がる。	中世
09b	34次	N80～86・W27～30	ＳＤ09の南西部分。	ＳＤ17に切られる。	中世
09c	34次	N75～78・W31～35	ＳＤ09の南西部分。		中世
10	22・29次	S37～40・E52～60	上部がラッパ状に開く形状。	ＳＤ02に直角にとりつく。	中世
11	22次	S15～25・E50～52	Ｕ型の溝。	ＳＤ10に直角にとりつく。	中世
12	1Ｔ・23次	S103～104・E29～57	上部幅75cm・底部幅50cmのＵ型溝。	ＳＤ01の南縁に造られている。	平安
13	31次	S115～118・W10～12	上部幅70cm・底部幅40cm～50cmのＵ型溝。	ＳＪ38に切られている。	平安
14	32次	N19～27・E142～143	上部幅80cm・底部幅60cmのＵ型溝。	ＳＤ15によって切られる。	(不明)
15	32次	N21～23・E140～145	上部幅150cm・底部幅70cmのＵ型溝。	ＳＤ14を切る。	(不明)
16	32次	N24～26.5・E142.5～143.5	浅い南北溝。		(不明)
17	34次	N79～83.5・W27～30	上部幅100cmの浅い溝。	ＳＤ09ｂを切る。	中世
18	34次	N75～78・E6.3～8.9	上部幅160～230cm・底部幅100～180cmの南北溝。	ＳＤ09の南東延長部分とみられる。	中世
ＳＥ					
01	12Ｔ	N64～67・E26～28	円形で上部はラッパ状に開く。素掘り。	西半部は破壊されている。	中世
02	15Ｔ	S9～11・E92～94	円筒形。素掘り。	ＳＤ04に伴う。	奈良～平安
03	18次	N10～13・W8～12	円形で上部はラッパ状に開く。	上縁北西部に長方形の足場がつく。	中世
04	20次	N13～14・E5～7	掘形上部は隅丸の不整方形。深さ550cm。	上部は削平されている。	奈良～平安
05	20次	N97～99・E10～12	円形で上部はラッパ状に開く。素掘り。		中世
06	20次	N98～101・E34～37	円形で上部はラッパ状に開く。素掘り。		中世
07	22次	S40～45・E52～56	円形で上部はラッパ状に開く。素掘り。		中世
08	15Ｔ	S16～19・E102～106	円形で上部はラッパ状に開く。素掘り。		中世
09	26次	N31～35・W13～17	円形で上部はラッパ状に開く。素掘り。		中世
10	26次	N30～32・W26～28	円筒形。素掘り。		中世
11	26次	N33～35・W25～27	円筒形。素掘り。		中世
12	26次	N50～52・W23～25	円筒形。深さ760cm。素掘り。	上部南半分はＳＫ32に切られる。	中世
13	26次	N50～51・W11～13	円筒形。素掘り。	ＳＫ34を切っている。	中世
14	26次	N51～53・W13～14	円筒形。素掘り。	ＳＫ39を切っている。	中世
15	26次	N35～36.5・W13～15	円筒形。上部径95cm・深さ740cm・素掘り。		中世
16	30次	S51～52・W56～57	円筒形。	未完掘。上部は耕作により破損。	中世
17	34次	N75～76.3・W3～6	円筒形。上部はラッパ状に開く。素掘り。	未完掘。	中世
18	34次	N104～106・W27～29	円筒形。上部はラッパ状に開く。素掘り。	未完掘。	中世
ＳＦ					
01	1Ｔ・31次他	S90～100・E134～W70	南辺築垣跡。基底幅約200cm。基部は粘質土を盛り、本体は版築様に造られる。	基部および本体の一部が残る。ＳＪ21・22はこれが崩れた跡に造られている。	奈良～平安
ＳＪ					
01	11Ｔ	S10～15・W0～5	400×350cm。東壁にカマド。柱穴なし。	遺物は少ない。	8世紀後期
02	5Ｔ	N38～39・E129～130	(不明)	残存状態は悪い。	平安
03	5Ｔ	N35～36・E127～128	(不明)	残存状態は悪い。	10世紀末期
04	5Ｔ	N33～34・E129～131	(不明)	残存状態は悪い。	平安
05	5Ｔ	N25～29・E122～126	330×270cm。東壁にカマド。柱穴なし。N－0°30′－E。	ＳＢ07の柱穴を切る。	8世紀後期
06	5Ｔ	N19～25・E122～128	600×480cm。東壁にカマド。柱穴なし。N－0°30′－E。	工房跡とみられる。	8世紀前期
07	5Ｔ	N27～28・E128～130	(不明)	ＳＫ01を埋めた上に造る。	10世紀末期～11世紀前期
08	18次	N17～20・W20～26	460×280cm。東壁にカマド。柱穴なし。		9～10世紀
09	22次	S45～53・E34～41	570×560cm。東壁にカマド。柱穴あり。E－2°－S。	残存状態は良好。南壁に張り出しがある。	古墳後期
10	22次	S53～57・E28～34	545×300cm。東壁にカマド。柱穴1個あり。E－9°－N。		古墳後期
11	22次	S38～45・E53～63	740×660cm。東壁にカマド。柱穴あり。E－28°－N。	北側はＳＤ01に切られる。	古墳後期
12	23次	S99～101・E33～35	(不明)	カマドのみ残存。ＳＤ01に壊される。	古墳後期
13	24次	S86～89・W67～70	250×250cm。東壁にカマド。柱穴なし。E－6°－S。	ＳＪ14を切る。	10世紀初期
14	24次	S84～88・W69～72	規模は不明。東壁にカマド。	ＳＪ13に切られる。西半部は崩落のため滅失する。	9世紀後期～10世紀初期
15	15Ｔ	S21～23・E81～84	210×160cm。東壁にカマド。柱穴なし。E－6°15′－N。		9世紀前期
16	27次	S70～73・W55～58	330×260cm。東壁にカマド。柱穴なし。E－23°－N。	ＳＢ12に切られる。	7世紀後期
17	27次	S64～68・W57～60	390×350cm。東壁にカマド。柱穴なし。E－4°－N。	ＳＢ12に切られる。	7世紀後期
18	27次	S67～73・W37～42	440×430cm。東壁にカマド。柱穴あり。	残存状態は良好。	7世紀末期
19	27次	S77～80・W33～35	(不明)	残存状態は悪い。	(不明)
20	27次	S106～110・W35～40	360×360cm。南東隅にカマド。柱穴なし。	寺域南外側にある。	11世紀中期
21	27次	S88～93・W36～39	410×355cm。北壁と東壁にカマド。柱穴なし。E－6°－N。	ＳＦ01の跡に造られる。ＳＪ22の東側に並ぶ。	11世紀前期～中期
22	27次	S89～92・W41～44	330×285cm。東壁にカマド。柱穴なし。E－2°－S。	ＳＦ01の跡に造られる。	11世紀初期～前期
23	27次	S78～83・W36～42	400×400cm。	ＳＫ68・69に切られる。	9世紀
24	27次	S67～70・W47～51	340×310cm。東壁にカマド。柱穴なし。E－1°30′－S。	ＳＢ12に切られる。	7世紀末期～8世紀初期
25	29次	S10～16・E18～24	525×470cm。東壁にカマド。柱穴なし。E－33°－N。		7世紀末期～8世紀初期
26	29次	S6～11・E25～30	362×346cm。東壁にカマド。柱穴なし。E－30°－N。	ＳＴ30などに切られる。	7世紀末期～8世紀初期
27	29次	N2～7・E25～30	400×345cm。東壁にカマド。柱穴なし。E－62°－S。	ＳＴ17などに切られる。	7世紀末期～8世紀初期
28	29次	S25～29・E17～21	(不明)	石組炉と埋設甕のみ残存。	縄文中期
29	30次	S53～57・W62～66	径350cm程度の不整円形。炉は不明。	ＳＫ77に切られる。	縄文中期
30	30次	S58～64・W61～67	530×480cm。東壁にカマド。柱穴あり。E－24°30′－N。		7世紀末期～8世紀初期
31	30次	S57～60・W57～60	300×270cm。柱穴あり。E－30′－S。	ＳＫ85に切られる。	中世
32	30次	S81～83・W48～51	260×230（以上）cm。柱穴なし。E－19°30′－N。		7世紀末期
33	30次	S83～86・W49～52	260×270cm。東壁にカマド。柱穴なし。E－10°－N。	ＳＪ32を切って造られる。	7世紀末期
34	31次	S109～114・W51～56	360×500cm。東壁にカマド。柱穴なし。E－21°30′－N。	残存状態は良好。	9世紀前期
35	31次	S116～122・W60～66	530×490cm。東壁にカマド。柱穴なし。E－32°30′－N。	ＳＪ43などに切られる。	6世紀前期
36	(欠番)				
37	31次	S117～120・W31～34	(不明)	西南部½のみ検出。	10世紀
38	31次	S116～121・W10～14	390×445cm。東壁にカマド。柱穴あり。E－2°30′－N。	床面に間仕切り材の痕あり。	10世紀
39	31次	S117～120・W5～8	370×280cm。南東隅にカマド。柱穴なし。E－30°30′－N。	残存状況は悪い。	10世紀
40	31次	S115～117・W7～9	(不明)	残存状態は悪い。	10世紀
41	31次	S116～121・E8～12	400×440cm。東壁にカマド。柱穴あり。E－19°30′－N。	南東部は攪乱のため破損。	6世紀前期～中期
42	31次	S118～122・W61～65	320×270cm。柱穴なし。E－4°－N。	ＳＪ35・43・44を切る。	平安
43	31次	S117～118・W61～65	300×150（以上）cm。柱穴なし。	南半部をＳＪ42に切られる。	平安
44	31次	S112～123・W61～65	325×185（以上）cm。柱穴なし。	北半部のみ検出。ＳＪ42に切られる。	平安
45	31次	S150～154・E7～10	300（以上)×320cm。東壁にカマド。柱穴なし。E－30°30′－N。	一部を検出。	7世紀前期～中期
46	30次	S77～79・W55～58	(不明)	カマドの焼土、床面一部のみ残存。	(不明)
ＳＫ					
01	5Ｔ	N22～28・E128～132	520×370cm、深さ90cmの堀状。	ＳＢ07を切る。埋土上にＳＪ07が造られる。	奈良～平安
02	5Ｔ	N21～24・E42～46.5	幅450cm・深さ約200cm。形状不明。	金堂基壇東側に接する。	中世～近世
03	5Ｔ	N18・E53～59	(不明)	金堂基壇東側にあり、石造物を多く含む。	中世～近世
04	11Ｔ	S10～12・W2～3	160～200cmの円形で深さ20cm。	ＳＪ01を切る。	中世
05	5Ｔ	N40～41・E125～126	130×110cmの長方形。		(不明)
06	16次	S100～101・E137～138	130×90cmの長方形で、深さ70cm。		中世
07	19次	N11～13・W37～39	70×90cmの楕円形。	焼土壙。	奈良
08	18次	N12～16・W4～8	320×310cmの方形で、深さ50cm。	ＳＴ5の上に造られる。ＳＫ09に切られる。	中世～近世
09	18次	N15～17・W4～7	225×170cmの長方形で、深さは30cm。	ＳＫ08を切る。	中世～近世
10	17次	S21～22・W13～15	径100cm、深さ40cmの円形。	瓦散布面下部で検出。	平安
11	17次	S25～26・W13～15	90×110cm、深30cmの円形。	瓦散布面下部で検出。	平安
12	17次	S31～33・W13～15	140×110cmの円形。	瓦散布面下部で検出。	平安
13	16次	S101～107・E136～141	550×460（以上）cmの楕円形で、深さ140cm。	改修時以前に造られたもの。	平安
14	20次	N113～115・E37～39	220×200（以上）cmの方形で、深さ50～70cm。	底部に礫が散布する。	中世
15	22次	S57～59・E29～32	290×150（以上）cmの方形で、深さ40cm。	南半部は未調査。	(不明)
16	23次	S94～96・E10～11	210×130（以上）cmの楕円形で、深さ30cm。	西半部は未調査。	(不明)
17	24次	S88～89・E68～70	径60cmの円形で、深さ60cm。	浅間Ｂ軽石が入る。	平安～中世
18	24次	S83～85・W60～61	120×80（以上）cmの円形で、深さ40cm。		(不明)
19	24次	S85～87・W63～65	145×110cmの長方形で、深さ30cm。	底部に扁平玉石が入る。	奈良～平安
20	24次	S87～88・W60～63	170×90cmの長方形で、深さ30cm。	ＳＦ01の北側に接してある。	(不明)
21	15Ｔ	S15～19・E76～78	340×220cmの長方形で、深さ40cm。		(不明)
22	15Ｔ	S16～17・E70～71	90×50cmの長方形で、深さ40cm。		(不明)
23	15Ｔ	S23～24・E84～85	100×65cmの長方形で、深さ20cm。		(不明)
24	15Ｔ	S16～18・E95～97	200×100cmの長方形で、深さ20cm。	不整形の窪地状で、礫が入る。	(不明)
25	26次	N25～28・W11～14	210×190cmの長方形で、深さ50cm。E－7°5′－N。	ＳＫ26を切って造られる。底部に瓦が並べられている。	平安
26	26次	N27～29・W10～12	200×170cmの長方形で、深さ60cm。	ＳＫ25に切られる。	平安
27	26次	N27～31・W8～11	340×210cmの長方形で、深さ17cm。N－8°15′－W。		平安
28	26次	N32～34・W8～11	170×160cmの不正円形で、深さ20cm。		(不明)
29	26次	N41～44・W8～12	270×220cmの長方形で、深さ27cm。E－10′－N。		平安
30	26次	N37～40・W9～11	235×105cmの長方形で、深さ50cm。N－2°－W。	ＳＫ31に切られる。瓦片と礫が多く入る。	平安
31	26次	N36～38・W7～10	200×150cmの長方形で、深さ20cm。	ＳＫ30を切る。	平安～中世
32	26次	N48～51・W20～25	380×260cmの長方形で、深さ130cm。E－5°10′－N。	ＳＥ12を切る。階段を設ける。	中世～近世
33	26次	N50～52・W7～9	135×110cmの長方形で、深さ80cm。E－35′－N。	塵拾て穴。ＳＫ49に切られる。	11世紀
34	26次	S49～52・W10～13	210×135cmの不正長方形で、深さ30cm。	ＳＥ13に切られる。	中世
35	26次	N51～53・W19～21	192×105cm、深さ10cm。		(不明)
36	26次	N51～54・W20～22.5	125×194cm、深さ14.5cm。ＳＫ35に切られる。		(不明)
37	26次	N42～45・W23～26	210×190cm、深さ170cm。(E－15′－S)。		(不明)
38	(欠番)				
39	26次	N51～53・W14～16.5	264×218cm、深さ44.5cm。	ＳＥ14で切られる。	(不明)
40	26次	N30～32・W23.5～24.5	110×70cm、(長方形)。深さ47cm。		(不明)
41	26次	N27～29・W15～18	184×132cm、深さ21cm。	(不明)	
42	26次	N35～37・W22～24	180×166cm、深さ56cm。	ＳＫ43と重なる。	(不明)
43	26次	N35～37・W22～24.5	180×166cm、深さ56cm。	ＳＫ42と重なる。	(不明)
44	26次	N35～36・W6～8	125×124（以上）cm、深さ79cm。袋状をなす。		(不明)
45	26次	N35～36・W7～8	72×70cm、深さ36cm。		(不明)
46	26次	N35～36・W9～10	78×75cm、深さ38cm。		(不明)
47	26次	N37～39・W6～8	164×160cm、深さ32cm。袋状をなす。		(不明)
48	26次	N34～37・W13～16	424×198cm、深さ27cm。		(不明)
49	26次	N50～52・W6～8		ＳＫ39と重なる。	(不明)
50	26次	N44～46・W16～18	100×85cm、深さ9cm。		(不明)
51	26次	N45～46・W20～22	100×75cm、深さ22cm。		(不明)
52	26次	N53～55・W14～16	225×190cm、深さ8.5cm。		(不明)
53	25次	N14～15・E18～20	140(以上)×106(以上)cm、深さ41.5cm。	金堂跡の南西側。	(不明)
54	25次	N13～15・E15～17	66×64cm、深さ4cm。	ＳＫ55と並ぶ。	(不明)
55	25次	N13～15・E14～16	90×88cm、深さ4.5cm。	墓壙によって切られる。	中世
56	27次	S64～67・W44～48	310×110cm、深さ130cm。		平安
57	(欠番)				
58	27次	S72～74・W58～60	135×134cm、深さ26cm。		(不明)
59	27次	S63～64・W58～59	90×78cm、深さ20cm前後。		(不明)
60	27次	S95～99・W34～37	330×110cm、深70cm。	ＳＦ01の南縁部を切って造る。	中世
61	27次	S104～106・W39～41	200（以上）×120cm、深さ90cm。		(不明)
62	27次	S97～98・W39～41	120×100cmの長方形。焼土壙。	火葬用の土壙とみられる。	中世
63	27次	S69～71、W46～48	160×120cm、深さ140cm。		縄文中期
64	27次	S69～71、W45～47	150×110cm、深さ190cm。		縄文中期
65	27次	S68～70・W45～47	120×120cm、深さ110cm。		(不明)
66	27次	S62～67・W36～40	370×280（以上）cm。		(不明)
67	27次	S74～79・W38～43	450×340cm、深さ70cm。		平安
68	27次	S78.2～78.5・W41～41.5	40×30cm、深さ10cm。		(不明)
69	27次	S79～80・W40.9～41.5	60×55cm、深さ32cm。		平安
70	29次	S3～6・E22～24	260×200cmの不整長方形で、深さ170cm。		(不明)
71	29次	S1～N2・E22～24	径270cm、深さ190cm。不正円形。	階段がつく。	(不明)
72	29次	S22～25・E20～22.5	310×250cmの不整長方形で、深さ12cm。	東西耕作溝に切られる。	(不明)
73	29次	S26～29・E19～22	270×260cm、深さ4cm。	(不明)	
74	29次	S32～36・E20～25	146×140cm、深さ40cm。		(不明)
75	29次	S32～34・E27～30	186×100cm、深さ9.5cm。		(不明)
76	(欠番)				
77	30次	S54～57・W65～69	316×240cmの長方形で、深さ80cm。	底部は平坦。	中世
78	30次	S56.5～59・W47.5～51	334×250cmの不正円形で、深さ30cm。		平安
79	30次	S52～55・W42～45	230×230cm、深さ25cm。		平安
80	30次	S62～64・W68～70	146×144cmの円形で、深さ27cm。	底部は凹凸が著しい。	(不明)
81	30次	S56～58・W60～62	158×148cmの不正円形で、深さ8cm。	底部は凹凸が著しい。	(不明)
82	30次	S77～81・W46～53	600×270cmの楕円形で、深さ130cm。	ＳＫ85の北半分を切って造る。	9世紀後期
83	30次	S57.5～59・W52～54.5	不正円形。		平安
84	30次	S81～82・W51～52	74×70cm、深さ20cm。		(不明)
85	30次	S78～82・W46～51	560×250cm、深さ40cm。	北半部はＳＫ82に切られる。	9世紀後期
86	30次	S73～79・W34～37	330×390cmの楕円形状で、深さ10cm。		(不明)
87	31次	S117～120・W23～28		ＳＫ97・ＳＫ99に切られる。	(不明)
88	(欠番)				
89	31次	S118～120・W27～30	260×146（以上）cm、深さ17.5cm。	底部は平坦。	(不明)
90	31次	S119～120・W19～23	220×68（以上）cm。		(不明)
91	31次	S119～120・W19～20	100×66(以上)cmの不正円形で、深さ34cm。		(不明)
92	31次	S117～120・W15～18	306～280cm、深さ26cm。	ＳＪ38に切られる。	平安
93	31次	S115～116・W15～16	126×118（以上）cm。		(不明)
94	31次	S118～122・W1～4	390×290（以上）cm、深さ14cm。	瓦片を含む。	(不明)
95	31次	S115～117・E9～12	270×160cm、深さ10cm。		(不明)
96	31次	S104～113・E7～10	256×56（以上）cm、深さ18cm。		(不明)
97	31次	S117～119・W26～29	190×156cm、深さ134.5cm。	ＳＫ87を切って造る。	(不明)
98	31次	S117～119・W23～26	152×144（以上）cm、深さ75cm。		(不明)
99	31次	S117～120・W22～25	228×160cm、深さ113cm。	ＳＫ87を切って造る。	(不明)
100	31次	S117～120・W22～25		大部分がＳＫ99と重複。ＳＫ99を切る。	(不明)
101	33次	N116～119・E118.5～120	270×140cmの楕円形で、深さ120cm。	上半部はラッパ状。下半部は急角度。	15世紀中期
102	33次	N110.7～112.7・E122～124.5	230×200cmの隅丸長方形。W－10°30′－N。	掘形は急角度で、底部は平坦。	中世
103	33次	N79.4～84・E117.5～121.5	420×400cmの楕円形。	上半部は垂直、下半部は急傾斜。底部に礫と皿が多量に入る。	14世紀末期
104	33次	N80～82.4・E102.5～106.2	300×150（以上）cmの円形で、深さ18cm。		(不明)
105	34次	N72～76.8・E8～11	360×260cmの方形で、深さ40cm。		(不明)
106	34次	N77～78・E20～21.5	146×106（以上）cm、深さ29.5cm。	ＳＫ107を切って造る。	(不明)
107	34次	N77～78・W21.5～23	132×130（以上）cm、深さ37cm。	ＳＫ106に切られる。	(不明)
108	33次	N83.7～84.1・E117.4～117.8	30×40cm、深さ30cm。		(不明)
109	35次	S35～36・W50～50.5	106×40(以上)cmの長方形で、深さ20cm。	焼土壙。	(不明)
110	35次	S43～44・W25～29	400×200cm、深さ30cm。		奈良
ＳＴ					
1	(欠番)				
2	16次	S98～99・E138～139	90×40（以上）cm。	地山を浅く掘込む。	中世以降
3	18次	N20～22・W4～6	120×100cmの方形で、深さ27cm。		中世
4	18次	N13～15・W4～6	120×110cmの方形で、深さ28cm。		中世
5	18次	N16～18・W4～6	120×110cmの長方形。	ＳＫ08に切られる。	中世
6	18次	N12～13・W1～3	径120cmの円形。		中世
7	(欠番)				
8	18次	N18～19・W4～6	径60cm円形		中世
9	18次	N16～18・W3～5	80×60cmの長方形。		中世
10	18次	N6・W8	120×110cmの長方形。	ＳＢ08を切る。	中世
11	19次	S22～24・W32～33	120×60cm。		(不明)
12	19次	S20～22・W32～33	90×70（以上）cm。		(不明)
13	(欠番)				
14	27次	S60～61・W38.5～39.5	(不明)		(不明)
15	29次	N8～9・E22～24	(不明）南北の長方形		中世
16	29次	N6～8・E23～25	140×140cmの方形で、深さ22cm。		中世
17	29次	N6～8・E26～28	170×98cmの長方形で、深さ17cm。		中世カ
18	29次	N6～8・E26～27	120×90cmの長方形で、深さ13cm。		中世カ
19	29次	N4～6・E26～27	102×88cmの長方形で、深さ15.5cm。	ＳＪ27を切る。	中世カ
20	29次	N1～3・E28～29	110×100cmの方形で、深さ10cm。		中世カ
21	29次	N1～3・E31～32	140×70(以上)cmの方形で、深さ8cm。		中世カ
22	29次	S3～5・E27～29	80×60cmの長方形で、深さ11cm。		中世カ
23	29次	S3～4・E28～30	110×80cmの長方形で、深さ11.5cm。		中世カ
24	29次	S3～4・E28～30	120×70cmの長方形で、深さ26cm。	ＳＪ23を切る。崩れが目立つ。	中世カ
25	29次	S4～5・E31～32	111×54（以上）cm、深さ45cm。		中世カ
26	29次	S5～7・E26～28	130×120cmの方形で、深さ8cm。		中世カ
27	29次	S5～7・E25～26	100×72cmの長方形で、深さ16.5cm。		中世カ
28	29次	S6～8・E23～24	113×90cmの長方形で、深さ55.5cm。		中世
29	29次	S6～7・E22～23	70（以上)×40（以上）cm深さ40cm。		中世カ
30	29次	S8～9・E29～30	100×70cmの長方形で、深さ44cm。		中世カ
31	29次	S8～9・E26～27	94×60cmの長方形で、深さ18.5cm。		中世カ
32	29次	S7～9・E31～32	110×64cmの長方形で、深さ25.5cm。		中世カ
33	29次	S10～12・E30～32	140×100cmの長方形で、深さ43cm。		中世カ
34	29次	S9～11・E28～30	145×100cmの長方形で、深さ36cm。	ＳＪ26を切る。	中世カ
35	29次	S9～11・E24～26	98×82cmの長方形で、深さ23cm。		中世カ
36	29次	S8～10・E22～24	130×108cmの長方形で、深さ36.5cm。		中世カ
37	29次	S11～13・E24～26	103×100cmの方形で、深さ24cm。		中世カ
38	29次	S11～13・E23～24	98×52cmの長方形で、深さ17cm。		中世カ
39	29次	S10～12・E22～23	120×100cmの長方形で、深さ22.5cm。	ＳＴ40に切られる。	中世カ
40	29次	S9～12・E21～23	124×120cmの方形で、深さ57cm。	ＳＴ39を切る。	中世カ
41	29次	S12～13・E26～28	90×46cmの長方形で、深さ7.5cm。		中世カ
42	29次	S12～13・E28～29	70×40cmの長方形で、深さ15cm。		中世カ
43	(欠番)				
44	(欠番)				
45	29次	S13～15・E29～30	114×72cmの長方形で、深さ49cm。		中世カ
46	29次	S13～15・E30～32	84×84cmの円形で、深さ23cm。		中世カ
47	29次	S13～15・E25～27	120×110cmの長方形で、深さ43cm。		中世カ
48	29次	S15～17・E25～26	120×70cmの長方形で、深さ38cm。		中世カ
49	29次	S13～14・E23～24	90×60cmの長方形で、深さ22cm。		中世カ
50	29次	S15～17・E22～24	140×62cmの長方形で、深さ35cm。	ＳＪ25を切る。	中世カ
51	29次	S17～19・E24～25	110×84cmの長方形で、深さ8cm。		中世カ
52	29次	S12～14・E21～23	120×92cmの長方形で、深さ37.5cm。		中世
53	29次	S15～16・E21～23	110×110cmの方形で、深さ27.5cm。	ＳＴ54を切る。	中世カ
54	29次	S15～17・E21～23	130×110cmの長方形で、深さ51cm。	ＳＴ53に切られる。	中世カ
55	29次	S20～22・E23～24	42×40cmの円形で、深さ20cm。	小形。	中世カ
56	29次	S20～23・E28～29	150×90cmの長方形で、深さ5.5cm。		中世カ
57	29次	S20～22・E30～32	112×92cmの長方形で、深さ26.5cm。		中世カ
58	29次	S22～24・E26～28	130×114cmの長方形で、深さ29cm。		中世カ
59	29次	S29～31・E27～29	128×104cmの長方形で、深さ13cm。		中世カ
60	29次	S15～17・E37～38	116×80cmの長方形で、深さ45cm。		中世カ
61	29次	S13～14・E34～35	100×60cmの長方形で、深さ38cm。		中世カ
62	29次	S14～16・E32～33	114×65cmの長方形で、深さ29cm。		中世カ
63	29次	S16～18・E31～33	100×80cmの長方形で、深さ55.5cm。		中世カ
64	29次	S27～29・E32～34	120×110cmの不正方形で、深さ16cm。	扁平玉石・五輪塔部分が入る。	中世カ
65	29次	S27～29・E32～34	84×78cmの不正方形で、深さ10cm。	水輪が入る。	中世カ
66	30次	S51～52・W45～46	48×40cm。	骨片を含む墓壙の残痕。	(不明)
67	30次	S53～54・W45～46	50×46cm。	頭蓋骨片を含む墓壙の残痕。	(不明)
68	30次	S51～52・W48～50	76×72cm。	骨片が散らばる墓壙の残痕。	(不明)
69	30次	S54～55・W44～46	160×90cm。	瓦、小片、礫片などが多い。骨片が散在。	(不明)
70	30次	S55～56・W46～48	120×70cm。	骨片が散在。銅銭5枚あり。墓壙残痕。	中世カ
71	30次	S55～57・W44～56	70×48cm。	骨片が散在する墓壙の残痕。	(不明)
72	30次	S56～58・W43～45	110×60cmの長方形で、深さ19cm。		(不明)
73	30次	S56～57・W41～43	130×54cmの不正長方形で、深さ16cm。		(不明)
74	30次	S51～53・W52～54	118×60cm。	骨片が散在する墓壙の残痕。	(不明)
75	31次	S107～108・W9～10	(不明)	頭蓋骨片のみ残る墓壙の残痕。ＳＫ96埋土中に造る。	(不明)
76	33次	S81～82・E115～116	90×80cmの円形で、深さ35cm。	土師質皿出土。	中世
77	32次	N31～32・E138～140	(不明)	掘形の輪郭は不明瞭。残痕。	(不明)
ＳＸ					
01	29次	N10～13・E26～29	274×218cmの円形。	粘質土が僅かに高くなる。	(不明)
02	35次	S28～43・W29～56	2,400×900cmの長方形。	土壇。周縁には礎石状の石を1～3段に積み上げる。	明治20年
瓦溜	15Ｔ	S15～20・E80～88	1,100×800cm。	中心部の厚さ70cm。周辺部薄くなる。	中世